

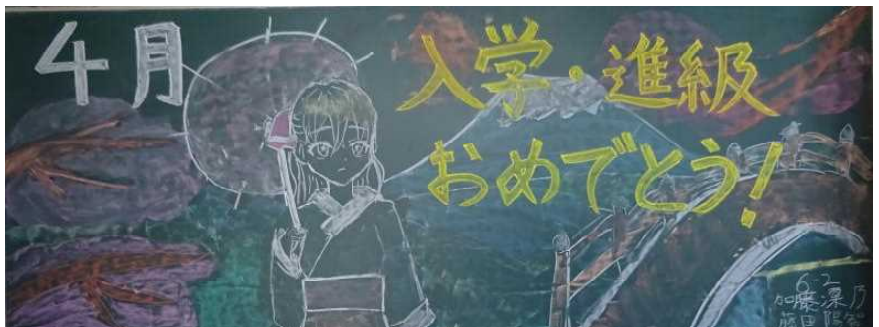
# 花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校  
令和6年4月4日 No.1

## 1 ご入学・ご進級おめでとうございます



春爛漫の中、入学式・始業式を終え、令和6年度がスタートしました。本日、久しぶりに登校した子どもたちは新しい学級を確認し、友達と一緒に歓声を上げながら新しい教室に向かっていきました。すてきな笑顔が溢れていました。期待に胸をふくらませて登校してきたことがよく分かりました。

新2年生から新6年生の始業式では、この1年間の目標を一つもって欲しいこと、その目標はとてつもなく大きなものではなく、1年間がんばればなんとか達成できそうなことに決めて欲しいことを話しました。

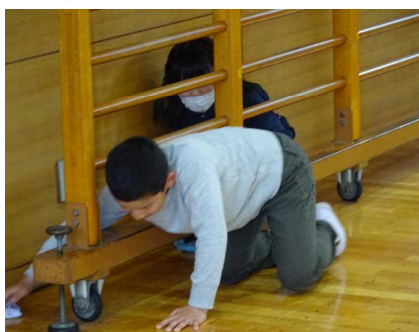
入学式では、新6年生と保護者の皆様が見守る中、127名の希望に満ちた元気な新1年生を迎えました。入学式では、時間を守ること、交通事故など安全に気をつけること、挨拶や返事をするなどの3点について話し、保護者の皆様に家に帰った後、お子さんに聞き返して欲しいとお願いしました。そして、「よく聞いていたね」と褒めてあげて欲しいことをお願いしました。

子どもは認め、褒められ自信をつけると自己肯定感を抱くようになります。自己肯定感とは自分らしさとともに、自分自身が価値ある存在であると確認できることを指しています。この感情が高いと、人はいろいろなことに意欲的に取り組み、満足感を重ね、自分にも他人にも受容的になれるものです。しかし、自己肯定感が低いと、自己否定感が強くなり、少しのつまずきでも心が折れやすくなっていくものです。

子どもですからできないことやうまくいかないことがあるのは当たり前です。できないことは確かに気にはなりますが、それよりもできたことや、頑張っていることに目を向け、それを認め励ますこと、これを繰り返していくことを大切にしたいと考えています。

## 2 子どもの自主性を育む

子どもたちには言われたこと、決められていることだけでなく、例えば、学年や学級、仲間、下級生のためによいと考えたことは進んでやってほしいと思っています。次の3枚に写真を見てください。左の2枚は入学式準備（4月3日）の一場面です。右の1枚は本日のものです。



体育館の準備はほぼ終わっていました。しかし、写真のように並んでいる椅子を1列ずつ横からチェックし、ずれているものがあれば直しに走って行く様子が見られました。また、体育館に設置されている肋木の後ろ側、とても狭いスペースですが手を伸ばして雑巾がけをし始めた子がおり、そして、その様子を見て、やりにくいだろうからと考えたのでしょうか、肋木と壁の間に入って雑巾をかけ始めた子がいました。おおよそ準備が済んだ段階でもまだできることはないかと考え、積極的に活動する新6年生の姿を見て、大変頼もしく、嬉しく思いました。

子どもたちのすてきな様子を見取り、認め励ましながら子どもたちの自主的、自発的な活動を応援したいと思います。

## 3 令和6年度の吉浜小学校教職員です～よろしくお祈いします～

[校長] 鈴木 剛 [教頭] 本多みちよ [教務主任] 杉浦正徳 [校務主任] 森田泰行  
 [養護教諭] 渡邊亜季 [栄養教諭] 大村伸恵 [事務主任] 岩瀬由子 [主事] 高橋菜央  
 [専科] 稲垣めぐみ・村越克実・竹内華子・伊庭香織・清水由希・河田響子  
 [日本語指導] 森山咲里奈・都築美由紀 [通級指導] 松田純子  
 [少人数指導] 野々山直美・竹内華子・鈴木亜希子 [初任研補充] 鈴木亜希子・高須かおり  
 [非常勤養護教諭] 岩間美和子 [拠点校指導教員] 神谷秀志  
 [スクールアシスタント] 金山尚子・鈴木亜希子・箕浦友梨奈・高須かおり [学校司書] 松村宏子  
 [スクールサポーター] 神谷悠一・杉浦貴子 [スクールカウンセラー] 関山みさき [ALT] 浜田レイチェル  
 [用務員] 土川 直子 [校務補助員] 太田瑤子 [通訳者] トルクワットパトリシア  
 [プログラミング教育支援員] 加藤正直 [ICT支援員] 杉浦己喜夫

| 学級   | 担任名   | 学級   | 担任名   | 学級     | 担任名   | 学級      | 担任名   |
|------|-------|------|-------|--------|-------|---------|-------|
| 1年1組 | 廣瀨真理子 | 2年1組 | 兵藤 聖子 | 3年1組   | 杉浦沙也香 | 4年1組    | 深谷 和彦 |
| 1年2組 | 有川 未夢 | 2年2組 | 村松理香子 | 3年2組   | 竹内 みう | 4年2組    | 幸野 朱里 |
| 1年3組 | 新美 有希 | 2年3組 | 増田 彩子 | 3年3組   | 森田 泰行 | 4年3組    | 浜田 真衣 |
| 1年4組 | 鳥山裕美子 | 2年4組 | 間瀬 智広 | 3年4組   | 杉浦 亘  | 4年4組    | 深津 諭  |
| 合計   | 123名  | 合計   | 117名  | 合計     | 120名  | 合計      | 115名  |
| 学級   | 担任名   | 学級   | 担任名   | 学級     | 担任名   | 合計 737名 |       |
| 5年1組 | 加藤 有貴 | 6年1組 | 木下 純子 | よしのめ1組 | 高橋 かな |         |       |
| 5年2組 | 杉浦 佳樹 | 6年2組 | 黒柳 優太 | よしのめ2組 | 齋藤 裕子 |         |       |
| 5年3組 | 青木 隆助 | 6年3組 | 竹本 海  | よしのめ3組 | 功刀 夏代 |         |       |
| 5年4組 | 杉山 梢  | 6年4組 | 鵜飼 恭子 | よしのめ4組 | 田中 智恵 |         |       |
| -    | -     | -    | -     | よしのめ5組 | 松崎 聖宣 |         |       |
| 合計   | 126名  | 合計   | 115名  | 合計     | 26名   |         |       |

# 花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～

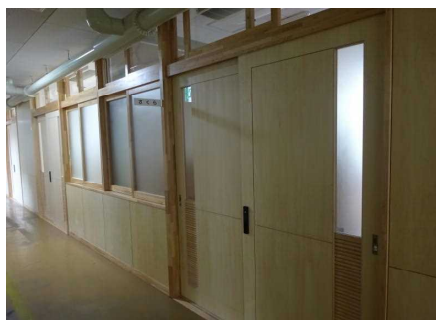


高浜市立吉浜小学校  
令和6年4月6日 No.2

## 長寿命化改修工事

昨年度から始まっている長寿命化改修工事の経過報告です。南校舎南面の外壁工事が終わり、この南校舎の南側に2階建ての仮設校舎が完成しました。4月からは、4年生の教室である北校舎3階教室及び廊下の改修が始まっており、4年生は仮設校舎での生活・学習がスタートしました。さらに、北校舎のトイレの改修が終わり、洋式化及び自動水栓が整備されました。昨年今頃は1年生の子から、「トイレの流し方を教えてください」という声をよくかけられました。洋式トイレはもちろん、終われば自動で流してくれる生活が当たり前となっている子どもたちにとって和式のトイレ、自分で水を流すという経験は初めてだったようです。今回の長寿命化改修で学校のトイレもすべて洋式化となります。教室の関係では、北校舎1階の保健室、通級指導教室、よしのめ4・5組教室も完成しました。木のぬくもりのある温かな雰囲気のある教室です。また、運動場の東側には雲梯が設置され、西側には、屋外トイレ及び遊具・鉄棒が設置され、4月8日（月）から使用できるようになっています。27日（土）の授業参観では、お子さんのがんばっている姿に加え、完成しましたこれらの施設等も見ただけならと思います。

今後は、改修工事の教室及び廊下の該当学年が仮設校舎に移り、完成したらまた別の学年が仮設校舎に移ってということを繰り返し、工事を進めていく予定です。すべての工事の終了は令和8年3月末です。



## 吉浜小学校だより「花咲く明日を」について

吉浜小学校だよりに、「花咲く明日を」というタイトルを付けています。多くの方がピンとくるかと思いますが、吉浜小学校の校歌の一節からいただきました。このたよりにには、例えば、入学式・始業式、修学旅行などの大きな行事の様子のみならず、日々の学校の様子、子どもたちの様子、保護者の皆様と一緒に考えたいことなどを載せていきたいと思っています。感想やご意見等がありましたらお知らせください。なお、「花咲く明日を」は、「すぐーる」で配信させていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

# 花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校  
令和6年4月10日 No.3

## 1 1年生通学コース別下校



1年生は現在、通学コース別に並んで下校をしています。教員の先導に加え、吉浜まちづくり協議会の皆さんにも各交差点等で子どもたちの見守りを行っていただいております。

本日は通学コース別下校の3日目。「一人でも大丈夫」と話してくれる子もいます。春休み中に、学校まで歩いてきてくださった親子を何人も見ました。登下校の練習とのことで、大変嬉しく思うとともに、こういったことが、「一人でも大丈夫」という自信につながっているのだろうと思いました。ありがとうございました。

通学コース別に並んで帰って行く1年生の子どもたちを見てみると、大変気持ちのよいあいさつや言葉がけをしてくれます。「さようなら」だけでなく、「今日もありがとうございました」「一日楽しかったです」「明日も元気に来ます」など、丁寧な言葉遣いで、おじぎをしながら話してくれる子もいます。そんな姿を見ていて、これまで家庭や園の生活の中で、このような温かい言葉に囲まれながら過ごしてきたんだなとつくづく感じます。こんな様子を見ている高学年の子が、「懐かしい。自分たちもこうだった」とつぶやいている姿が印象的でした。1年生の子どもたちの今後の学校生活が楽しみです。

## 2 人形小路雛めぐり俳句コンテスト

2月末から3月初めにかけて行われた「人形小路雛めぐり」、このイベントで、「俳句コンテスト」が行われました。この審査結果が学校に届きましたのでお知らせします。なお、現在は高浜中学校に進学しましたが、吉浜小学校の6年生として応募した皆さんの俳句もあわせて紹介します。おめでとうございます。

| 氏名    | 年組   | 結果 | 作品   |
|-------|------|----|--|
| 中川 律  | 高中1年 | 秀逸 | 風がふき桜が今日もしゃべってる<br>桜のおしゃべりに気がつくのは、作者の心が童心に満ちているからである。その童心はこの世を美しく愛しくしてくれる。 |
| 内藤向陽  | 高中1年 | 佳作 | ひなめぐりひなにつられてえがお咲く<br>雛人形の笑顔が人間の笑顔を生み出してくれる。世の中に笑顔を広める、それが雛祭りなのだ。           |
| 橋本そら  | 3の4  | 佳作 | おひなさまいつもとなりになすきな人<br>となりに好きな人のいる生活ほど楽しいものはない。それこそが人生の目的そのものと言ってもよいであろう。    |
| 寺島なつな | 4の4  | 入選 | おひなさまわたしはあなたをまもりま  |
| 山田弥和  | 5の1  | 入選 | ひな人形きれいな服をみてほしい  |
| 中川真生子 | 5の3  | 入選 | おひなさまこころをこめてかざります  |
| 吉村 操  | 高中1年 | 入選 | おひなさま家中ひびくきれいな音  |
| 長坂 晴  | 高中1年 | 入選 | 春風にふかれるひながきれいだな  |
| 武内咲希  | 高中1年 | 入選 | たくさんの人が集まるひなめぐり  |



なお、橋本そらさん、中川真生子さんは、11月に行われた「人形小路菊まつり俳句コンテスト」に引き続き、それぞれ佳作、入選に選ばれています。今回も選者及び句評は中村正幸先生です。

# 花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校  
令和6年4月12日 No.4

## 学級開きの取組

バースデーライン、バースデーチェーンと呼ぶこともありますが、知っていますか。私が子どもの頃には聞いたこともやったこともなかったゲームですが、現在は互いの緊張感を取り除き、仲良くなっていくためのアイスブレイク（緊張した雰囲気を和らげるための導入的な活動）として行われています。学校では新しいメンバーになった4月当初の学級開きとして行われることもあります。

先日、たまたまバースデーラインを行っている学級があり、様子を見させてもらいました。これまで吉浜小学校で過ごしてきた子どもたちにとって学級編制があったからといって全く初めて顔を合わせるといことはなかったと思うのですが、少し重い雰囲気でゲームが始まりました。1対1のコミュニケーションは案外進んでいるのですが、複数のコミュニケーションはなかなか進みませんでした。それでも子どもたちはより大きな集団でコミュニケーションをとっていかなければ全員が順番に並べないことに気づき、仲間の手を引いていき、複数でコミュニケーションをとり、順番を確定する姿が見られるようになってきました。そして、時間はかかったものの順に並び、その後の答え合わせでも並んだ順番がすべて正しいことが確認できました。

ルールを守り、正しく並べたことを認めながら、もっと時間がかかってしまったり、並ぶことができたものの順番が間違っていたりということもあったと、子どもたちに話す担任は少し嬉しそうでした。さらに、言葉で伝えた方がスムーズなこともあるし、反対に、言葉はなくても思いを伝えたり感じ取ったりすることができる、そんな関係を築いてほしいと締めくくっていました。

バースデーラインとは？

”バースデーライン”は、参加者が言葉を出さずにコミュニケーションをしながら、誕生日順に並んでいくというゲームです。参加する者同士が目をあわせて、身振り手振りを交えて伝えようとするので、初対面の人同士でコミュニケーションを図り、場の空気をほぐしていくことができます。新年度の学級開きやレクリエーションなどで行われることがあります。



このように各学級において学級開きのさまざまな取組が行われています。担任によって若干、考え方や力の入れどころも違いますので、紹介したような取組ばかりではありません。学級開きのほんの一部でもあります。そして、誰の学級開きがよくて、誰のやり方がよろしくないというようなこともありません。なぜなら、「子どもたちの成長のために」という根幹の部分は、どの教員も同じであると考えているからです。

新しい学年・学級がスタートして1週間となります。子どもたちの緊張も解け、笑顔と活発な子どもたちの様子がたくさん見られています。今後は楽しみです。



学級開き～朝ご飯はパン？ ご飯？～

このテーマで、話し合いの仕方を学びました。（左写真）仲間の意見に対して、ハンドサインで自分の考えを示し、「～さんと同じで…」 「～さんとちょっと違って…」などの話し方について、実際に使ってみながら身につけていきました。

# 花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校  
令和6年4月16日 No.5

## 気持ちのよい教室



体育の授業など、教室以外での授業により教室に誰もいない時間があります。この日もそんな教室をいくつか目にしましたので写真を撮っておきました。共通していることは分かりますでしょうか。どの教室も子どもたちの机の上には何も出ておらず、飛び出している椅子もなく、きちんと机の中にしまわれています。大変気持ちのよい教室でした。教員の指導があったのだと思います。しかし、教室を見る人に気持ちよく感じてもらうためにこのようにしているわけではありません。

子どもたちの「集中力」や「やる気」はちょっとしたことで途切れてしまうことがあります。忘れ物をして教科書やドリル、定規などの道具がない場合、筆箱の鉛筆が「ときどき」ではなく、全て丸まっていたり、折れてしまっていたりした場合などです。同様に教室に戻った時に、机の上のものが散乱していたり、飛び出している椅子を目にしたときもやる気が削がれてしまいがちです。教室を空ける時、身の回りの整頓をして出かけることは当たり前のことではありますが、この当たり前のことを当たり前のように行っていくことは実は難しいことで、これこそ特別なことだと思っています。教員がやりなさいと言うからやるのでは意味がなく、何のためにそうするのか、そうしてみた結果どうだったかなど、絶えず確認し、そうすることのよさを子どもたちが実感できるようにしなければならぬと考えています。

ところで、山本五十六という人を知っていますか。以下に簡単に記しましたが、この山本五十六の名言といわれているものの一つが、「やってみせ…（以下のとおり）」です。

### 山本五十六

旧日本海軍大将・元帥。新潟生まれ。海軍要職を歴任。昭和14年（1939年）連合艦隊司令長官となり、太平洋戦争で真珠湾攻撃、ミッドウェー海戦などを指揮。ソロモン諸島上空で戦死。

やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。

話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。  
やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。



昭和の初め頃の言葉ですが、現在も人材育成の基本として紹介されたり、学校教育のさまざまな場面でもなるほどと思わせる言葉です。

学校では挨拶や清掃活動など、特に意識しているつもりではありますが、「人を動かし、育て、実らせる」ことはそう簡単にはいきません。もちろん人が人として成長していくのには時間がかかることです。認められ、褒められ、任せられて、信頼を得ていく経験の積み重ねが必要です。思うように子どもたちが動かないことも多々ありますが、そんな時にこの言葉を思い出し、子どもたちと向き合っていきたいと思っています。